

平成 20 年 7 月 3 日
大阪ウォーターフロント開発(株)広報課
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：松原、齋部、西村、田井、鈴木)

海遊館のペンギンたちがベビーラッシュ！ 今度はジェンツーペンギンの赤ちゃんが誕生！ 2 種類のペンギンの赤ちゃんを同時に公開中！

大阪市港区の海遊館では、平成 20 年 6 月 21 日(土)、7 月 2 日(水)に、「南極大陸」水槽で、ジェンツーペンギンの赤ちゃんがそれぞれ 1 羽ずつ誕生しました。7 月 2 日生まれの赤ちゃんは、展示水槽で親鳥が子育ての真っ最中です。現在のところ、赤ちゃんはまだ小さく、ほとんどの時間親鳥のおなかの下に隠れているため、姿をご覧いただける機会は少ないですが、誕生後 1 週間を過ぎる頃から徐々にご覧いただける機会が多くなります。赤ちゃんの展示期間は、赤ちゃんが歩き回るようになるまでの約 1 ヶ月間限定です。なお、6 月 21 日に生まれた赤ちゃんは、親鳥に積極的な育児行動が見られなかったため、バックヤードで飼育係員による人工保育を行っており、一般公開していません。

今回ご覧いただける赤ちゃんは、海遊館の「南極大陸」水槽で展示中のジェンツーペンギンが、平成 20 年 5 月 27 日に産んだ卵から生まれました。産卵後、両親が交代で卵を温めていたところ、6 月 30 日(月)に^{はしゅう}嘴打ちが始まり、産卵後 36 日目である 7 月 2 日(水)の 9 時 15 分に、無事親鳥のおなかの下にいる赤ちゃんを確認しました。現在のところ、親鳥が腹ばいになって赤ちゃんを守っており、赤ちゃんの姿をご覧になれる機会は少ないですが、一日に数回顔を覗かせ、親鳥が口移しで餌を与えるなどの



孵化直後のジェンツーペンギンの赤ちゃんと親鳥

微笑ましい子育ての様子が確認されています。赤ちゃんの成長に伴って親鳥が立ち上がって子育てを行うようになるため、誕生後 1 週間を過ぎる頃から赤ちゃんの姿がご覧いただきやすくなります。誕生後 1 ヶ月ほどすると、赤ちゃんは水槽内を歩き回るようになり、水槽内のプールに落ちて溺れてしまうおそれがあるため、「南極大陸」水槽での展示期間は約 1 ヶ月間限定となります。その後はバックヤードで飼育係員の手から餌を食べる訓練や、泳ぐ訓練をした後、冬頃には再び「南極大陸」水槽に展示する予定です。なお、海遊館でジェンツーペンギンの赤ちゃんが誕生したのは、平成 19 年 8 月以来で通算 4 羽目となります。

海遊館では 6 月 20 日からイワトビペンギンの赤ちゃんの人工保育の様子を公開しており、2 種類のペンギンの赤ちゃんを同時にご覧いただけるのは、今回が初めてとなります。

^{はしゅう}嘴打ち：^{ひな}雛が卵の内側から卵の殻に穴をあけること

1.【今回の繁殖について】

《1羽目》 現在、バックヤードで人工保育中のため一般公開していません。

産卵日：平成20年5月16日（金） *卵の長径約70mm、短径約55mm、重量約130g

嘴打ち日：平成20年6月20日（金）

孵化日：平成20年6月21日（土） *産卵後36日目

雛の大きさ：体長約15cm、体重290g（7月2日現在）

《2羽目》 現在、「南極大陸」水槽で一般公開しています。

産卵日：平成20年5月27日（火） *卵の長径約65mm、短径約55mm、重量約115g

嘴打ち日：平成20年6月30日（月）

孵化日：平成20年7月2日（水） *産卵後36日目

雛の大きさ：体長約10cm（目測、7月2日現在）

2.【ジェンツーペンギンの赤ちゃんの展示について】

場 所 海遊館7階「南極大陸」水槽内

展示期間 平成20年7月2日（水）から7月下旬までの約1ヶ月間

*生き物の状況により、展示期間の変更または展示を中止する場合があります。

3.【ジェンツーペンギンについて】

ジェンツーペンギン 英名：Gentoo penguin 学名：*Pygoscelis papua*

ペンギン科。頭頂部にある白い斑紋が特徴。成長すると体長約75cmになる。南極半島や南極周辺の島々に生息。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレーター状の巣を作り、メスは1回の産卵で通常2個の卵を産む。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

4.【海遊館で飼育しているその他のペンギンについて】

オウサマペンギン 英名：King penguin 学名：*Aptenodytes patagonicus*

ペンギン科。世界にいる18種のペンギンの中では、コウテイペンギンに次いで2番目に大きく、成長すると体長約90cmになる。南極大陸周辺の海岸、島に生息。海岸近くのゆるやかな斜面に繁殖地を持ち、メスは1回の産卵で通常1個の卵を産む。巣は作らず、足の上に卵を置き、ダブダブの腹部の皮をすっぽりとかぶせて抱卵する。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

アデリーペンギン 英名：Adelie penguin 学名：*Pygoscelis adeliae*

ペンギン科。頭部から背部にかけて黒く、目の周りにある白い輪（アイリング）が特徴。成長すると体長約70cmになる。メスはオスに比べ、一回り小さいことが多い。南極大陸とその周辺の島々に生息。自然界での繁殖時期は10～11月で、丸い小石で周辺を囲んだ浅い

クレーター状の巣を作り、メスは1回の産卵で通常2個の卵を産む。小魚、オキアミなどを食べる。

イワトビペンギン 英名：Rockhopper penguin 学名：*Eudyptes chrysocome*

ペンギン科。成長すると体長約50cmになる。岩場をピョンピョンと飛び跳ねながら移動することからこの名前が付いた。目の上にある黄色い冠羽^{かんう}が特徴。沿岸の岩場の小石や雑草で巣を作り、メスは一回の産卵で2個の卵を産む。ペンギンの中では気性がやや激しい。小魚やオキアミなどを食べる。

*イワトビペンギンの成鳥は現在バックヤードで飼育しており、展示していません。

【予告】『ふしぎスコープ「カワウソのひみつ」』について】

開催期間 平成20年8月3日(日)～9月30日(火)
時 間 8月3日(日)～31日(日) 9:30～20:00
8月13日(水)～16日(土)は、8:30～20:30
9月1日(月)～30日(火) 10:00～20:00
いずれも最終入館は閉館時刻の1時間前まで
場 所 海遊館エントランスビル4階「海遊館ギャラリー」内
料 金 海遊館の入館料に含む
内 容 現在開催中の「おさかな行動×展示



イメージパース

ふしぎスコープ」を一部リニューアルし、カワウソの行動や生態などについて体感していただける特別コーナーを新設します。コツメカワウソの様々な行動をご覧いただける特別な仕掛けを施した展示水槽を設置したり、実際にカワウソの行動を体感できる楽しいハンズ・オン コーナーなども設け、カワウソの生態や体の特徴などを体感していただけます。さらに、絶滅の危機に瀕しているニホンカワウソを紹介するコーナーを設け、自然環境の重要性についても訴えます。

「カワウソのひみつ」では、日光浴で大変人気であった5頭のコツメカワウソの子ども達とその両親を展示します。

ハンズ・オン：参加体験型の展示、解説方法で、来館者が体を使って、展示、解説を楽しみながら学習することができる。

『ふしぎスコープ「カワウソのひみつ」』の詳細については、後日、資料提供します。

（お知らせ）【コツメカワウソの日光浴の再開について】

- 開催日 平成 20 年 7 月 5 日（土）から 27 日（日）までの、土・日・祝日（計 9 回）
雨天、荒天、高気温時等は中止。
- 場 所 海遊館前イベント広場
- 時 間 15：00～15：30
生物の状況により、中止または時間を変更する場合があります
- 料 金 無料
- 内 容 5 月 30 日（金）から 6 月 15 日（日）に実施した「コツメカワウソの赤ちゃんの日光浴」（5 月 22 日資料提供済み）で、大変好評を得たコツメカワウソのこども達が『ふしぎスコープ「カワウソのひみつ」』へのデビューに先駆け、再びお客様の前で日光浴を行います。こども達は順調に成長しており、現在では体長約 25 cm、体重約 1 kg と、前回の時と比べ 1～2 回り大きくなっています。日光浴には、毎回 1～3 頭のこども達が登場します。